

「軍事ではなく平和の枠組みを」と強調

国際政治学者 羽場久美子氏が講演



治安維持違法犠牲者国家賠償要求同盟上越支部は23日、市民プラザで国際政治学者・青山学院大学名誉教授の羽場久美子氏を招き、「軍事に拠らない平和の枠組みづくり」と題する講演会を行いました。

講演で羽場氏は、「周辺各国の脅威を強調して軍拡を主張する勢力があるが、狙われているのは日本ではなくアメリカ。日本が軍拡を進めることで相手に脅威を与え、戦争の火種になる」と指摘し、「軍事ではなく平和の枠組みづくりを」と強調しました。

国民救援会が総会 吉田大さんを激励



日本国民救援会は22日総会を開き、重大な局面になっている岸田政権の「9条改憲」の策動を許さず、憲法改悪・大軍拡路線に反対するすべての人たちと共同してたたかうことなどを確認しました。

終了後には、帝京長岡高校を不当に解雇され闘っている吉田大さんから闘いの状況を直接聞き、同氏への激励金を手渡しました。

日本共産党上越市議員団ニューズ
No.798 2023年7月30日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

2週連続増加! 上越保健所管内
新型コロナウイルス感染症
感染者定点報告数

7月3日~7月9日 8.75 (県6.88)
7月10日~7月16日 10.25 (県7.88)

雪害対策はハードもソフトも必要

議員勉強会で「雪害対応の最前線」学ぶ

上越市議会は21日の議員勉強会で、防災科学技術研究所雪氷防災研究センターの上石(かみいし)勲さんを講師として招き、「雪害対応の最前線」を学びました。

上石さんは最初に、上越市を含む県内で近年発生した集中豪雪について、路面がシャーベット状の雪に覆われ自動車が走れなくなる事例や、雪の重みで木が倒れ通行できなくなったり、電線が切断されて大規模停電が発生したりする事例を、写真や動画を交えて紹介しました。そして、上越市の雪害の特徴は、山間部と狭い道路の多い都市部とで雪への耐性、処理方法が大きく異なることであると指摘し、それぞれの状況に合わせた雪害対策を提言しました。

それによると、降雪時の外出抑制や最新技術を活用した降雪状況の把握などのソフト面と、消雪パイプ・流雪溝の整備、道路の拡幅などのハード面双方の対策が必要であるとのことでした。

毎年のように悩まされる雪害の被害を最小限に食い止めるためにも、この日学んだことをすぐに活用する必要があります。

日本の雪氷対策:ハード対策だけでなく、ソフト対策も

